

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立社会体育施設	施設所管課	教育委員会事務局 スポーツ推進課
施設住所	西御園町93番地の2 ほか	竣工	S51.7(築満47年) ほか
設置目的	スポーツを愛好する市民に対するスポーツの実技指導、研修等を通じて、スポーツの推進を図るため		
主な事業内容	施設の管理・運営、維持管理業務、スポーツ教室等開催事業		
指定管理者名	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 複数の施設で改修工事を予定しており、利用者等への丁寧な周知や工事対応を行い、円滑な供用再開を目指す。特にサンシビック尼崎は工事に伴う休館があるため、供用再開後に利用者が減少するといったことのないよう取組を進めていく。

実施結果
 改修工事は極めて困難な工事となったが、関係部署や事業者との連携を密にし、当初の予定どおり再開したほか、積極的な利用促進の取組を行った。運営全般においては、各項目で高い利用者満足度を確保し、効果的な運営を行った。(指標①、②)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートのうち、接遇に関する項目についての「満足」以上の割合(単位：%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績	-	-	-	-	-	95.4%	94.9%				
達成度	-	-	-	-	-	106%	105%				
評価	-	-	-	-	-	◎	◎				
指標②：利用者アンケートのうち、事業に関する項目についての「満足」以上の割合(単位：%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績	-	-	-	-	-	95.9%	95.8%				
達成度	-	-	-	-	-	107%	106%				
評価	-	-	-	-	-	◎	◎				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 施設が老朽化し修繕を要する箇所が多い中で、これまで以上に経費節減に努め、市民サービスの向上に直結する支出を確保していく。

実施結果及び評価
 光熱費や物価高騰により先行きが不透明な中、修繕箇所の厳選や委託料等の経費削減に努め、予算内(物件費)で質の高い運営を行った。 ◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理などを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 日常業務の中でエコオフィスづくり指針に基づき取組を行うよう意識醸成に努めていく。

実施結果及び評価
 グリーン購入法適合商品を優先的に購入しているほか、エコオフィスづくり指針に定める半数以上の項目について取組を行った。また、電力会社が実施する節電プログラムに積極的に参加し、前年同月比で使用量の削減を達成するなど、環境に配慮しながら施設運営を行った。 ◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているがとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位：円)

収入			支出			
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	216,911,973	216,911,973	人件費	147,038,000	162,720,264	-15,682,264
			物件費	69,873,000	69,605,285	267,715
収入計	216,911,973	216,911,973	支出計	216,911,000	232,325,549	-15,414,549

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	スポーツ推進の中核的な役割の担い手として、子どもの体力向上や高齢者の介護予防など、本市が抱える今日的な課題を把握し、その解決に向けて、市と一体となって取組を進めていくこと。
指定管理者自身が設定した目標	1法令を厳守し、平等かつ公平な管理運営、2利用者ニーズや専門的知識を反映した管理運営、3 経費削減を目指した効率的・効果的な事業運営、

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	住民が気軽に運動やスポーツを楽しむことができ、地域の健康づくり及びコミュニティづくりの場となる施設						
目標指標	指標	施設利用者数(人)(基準値:令和3年度実績 345,060人、目標値:令和9年度 364,000人)					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	348,217	348,217	351,373	354,530	360,843	コロナ禍や工事による休館期間があった中、目標を概ね達成した。
実績値	335,781						

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか		
年度事業計画書における計画どりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築

令和4年度は、大規模改修等によって例年よりも一層緊密な連携を図る必要があり、互いに報告・連絡・相談を密にしながら取り組んだ。指定管理者とは、スポーツ施策全体についてパートナーとして推進に当たっているところであり、引き続き良好な関係を築けている。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
 施設の維持管理運営に当たって、苦情等を共有しながら協力して対応した。また、施設改修に当たっては指定管理者は利用者ニーズ等や施設の現状の吸い上げ、現場での臨機な対応を行い、市が実施に向けた調整を行うなど、円滑な供用再開につなげた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

気候変動や物価高騰の影響下で市民サービスを低下させない環境づくりとサービスの提供を心掛け、利用者満足度の向上を図っている。利用者アンケートにも多数見受けられる、施設の老朽化に伴う施設の改修工事等は、市担当部局と連携を密にし工事に伴うサービス停止期間などを最小限に止められるように調整を含め、引き続き主体的にかかわっていく。また、令和4年度にサンシビック尼崎の長寿命化改修工事を実施したが、機械設備等の一部は修繕されたが、既存設備等を継続使用となっているため、故障も大いに考えられる。修繕費の減額は管理運営をするに当たり、協議を行う必要がある。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

物価高騰や施設改修などの困難を抱えながら、高い利用者満足度を確保し、効率的で効果的な施設運営がなされたことは評価に値する。また、団体としても経営改善を図っており、信頼感や安心感は一層増している。今後スポーツ関連事業は、高齢者の介護予防やフレイル予防、多世代交流の促進、地域コミュニティの強化、学校教育との連携など、多様な視点が求められていくため、これまで以上にパートナーシップを高めていく具体的な取組が必要である。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

引き続き利用者の立場に立った運営を行い、利用者満足度を維持・向上させていく。施設の改修工事等については、今後も双方の連携を密にしながら取り組んでいく。また、施設で実施する講座等の事業についても、これまで以上にパートナーシップを高めながらPDCAサイクルを回していくため、協議の場を定期的に実施するなどの取組を進める。大規模改修工事の対象外となった箇所等で、今後修繕等が必要になることが見込まれる箇所については、予防的な視点も取り入れながら計画を立て、これをもとに財政部局と協議・調整を行う。

パートナーシップ